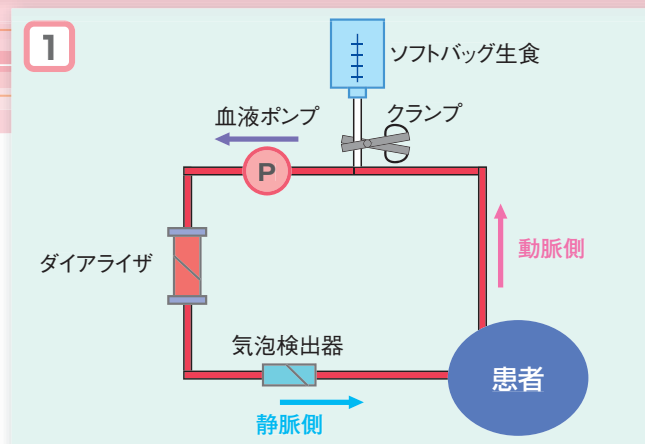
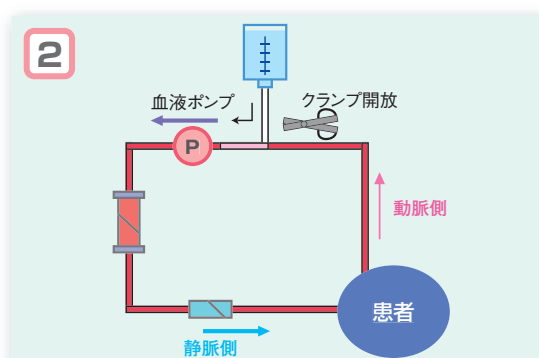


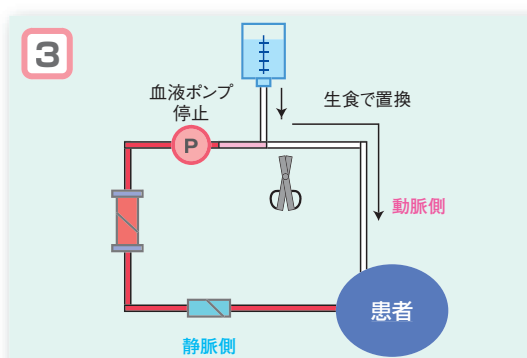
生食の落差を利用した生食置換返血法



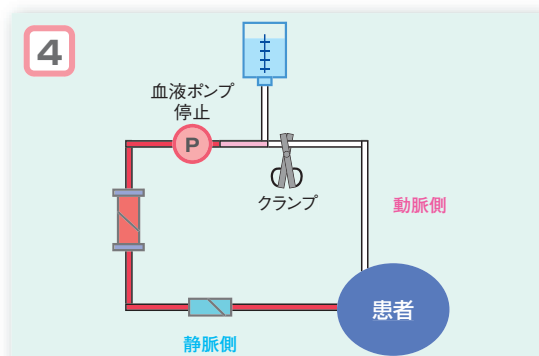
返血が終了するまで透析液はそのまま流し、透析用監視装置の静脈圧計、透析液圧計、気泡検出器などすべての検知・警報装置が透析中と同様に機能した状態で操作を行う。この時、除水が行われていないことを確認する。



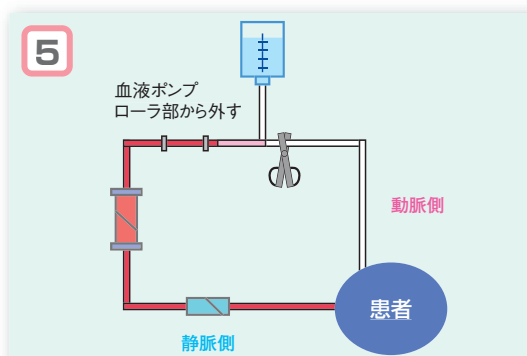
補液ラインのクランプを開放し気泡・凝血塊を血液ポンプ側に移動させる。



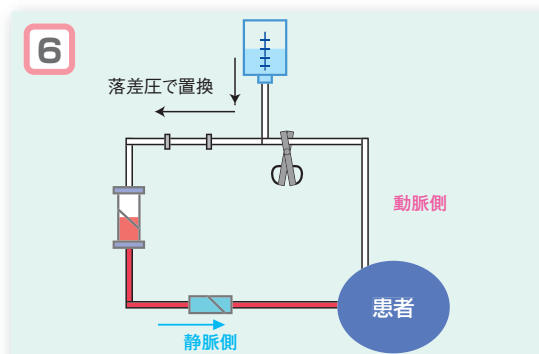
血液ポンプを止め、補液ラインから動脈側穿刺針方向に自然落差で生食を送り、血液を生食と置換する。



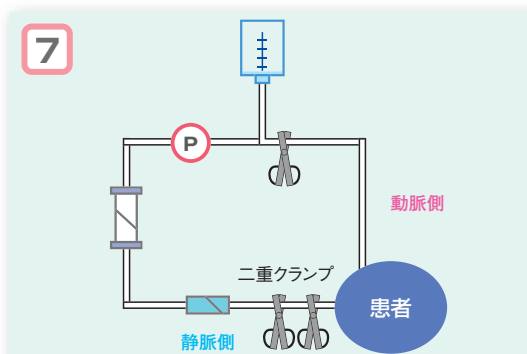
穿刺針側の回路を鉗子でクランプする（動脈側の圧力が強く自然落差で置換できない場合にはソフトバッグ生食を手で握り圧力をかける）。



ポンプセクション部を血液ポンプローラ部から外す。



返血用ソフトバッグ生食の落差圧により血液回路・ダイアライザ内の血液を生食で置換する。



返血操作が終了した時点で静脈側エアートラップ以降の血液回路を2箇所以上鉗子でクランプし、止血の準備をした後に動・静脈穿刺針を抜去する。